

平成23年度 第1回四街道市地域密着型サービス運営委員会会議録(概要)

日時 平成23年6月28日(火) 午後7時00分～午後8時20分
場所 四街道市役所本館3階 第2委員会室
出席者 委員 木村会長 西副会長 北村委員 梅山委員 渡部委員 中山委員 松本委員
嶽石委員 菊地委員
欠席者 委員 なし
事務局出席者 佐藤健康福祉部長 小澤健康福祉部参事 上野高齢者支援課長 植草主幹
鶴岡主幹 齋藤副主幹 能勢主査補 秋山主事 齋藤主事 吉原主事
傍聴人 5名

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 健康福祉部長あいさつ
- 4 議事
(1)地域密着型サービス事業所(夜間対応型訪問介護)の指定について
(2)その他
- 5 閉会

【会議概要】

木村会長

会議の公開について了承を得る。傍聴者入場。

≪議事 地域密着型サービス事業所(夜間対応型訪問介護)の指定について≫

事務局

資料に基づき概要を説明

<交付金について>

北村委員 渡部委員

交付金の3,000万円は他市の事業所も含めてのものか。また、交付金の交付先はどこになるのか。

事務局

四街道市の事業所のみである。また、交付金は国から市へ交付され、市から事業者に補助金として交付する。

西副会長 渡部委員 梅山委員

交付金3,000万円の対象になるものは何か。

事務局

交付要綱に細かい規程がある。たとえば、事務所の賃借料、備品購入、従業員の給料などが対象となる。事務所の敷金など、最終的に事業者へ戻ってくるものに関しては対象とならない。

<運営基準や指定申請書類の内容などについて>

木村会長

7月1日からすぐに事業は行えるのか。また、当初の利用者はどれくらいを想定しているのか。

事務局

事務所の準備やスタッフの採用も始めているので、7月1日から事業は行えると伺っている。国へ申請した交付金の書類には、初年度に40人から50人程度を見込んでいと記載している。

木村会長

利用者が増えてきた場合など、サービスの提供基準のチェックは市が行うのか。

事務局

指定基準に則り、市が行う。

西副会長 北村委員

複数の随時訪問が発生した場合はどのように対応するのか。

事務局

午後6時から午後10時の間に定期訪問を行い、深夜帯は基本的には随時訪問のみを考えているとのこと。随時訪問が重なる場合は待機しているヘルパーが対応する。

西副会長

当面は深夜の定期訪問がないとしても、今後の体制を考える必要がある。

事務局

利用者が増えれば、新たな需要に合わせてヘルパーの確保などの調整を行っていくべきである。

木村会長 西副会長 嶽石委員 北村委員

男性が女性を介護する場合、トラブルの恐れがある。女性が女性による介護を望んだ場合など、ニーズに対応することはできるのか。また、夜間訪問は介護者にも犯罪に巻き込まれる危険があるが、どのような配慮があるか。

事務局

同性を介護者に選ぶことについては現実的には難しい面もあるかと思うが、事業所へ確認する。また、従業員の安全確保について意見があったことを事業者伝える。

木村会長 中山委員

ケアコールについて、地震や停電などで機能に影響はあるのか。

事務局

携帯電話回線を使用しており、大地震などの場合は障害が発生する可能性が考えられるので、事業者へ確認する。

<その他>

梅山委員

市民へ夜間対応型訪問介護についての周知をお願いしたい。

事務局

民間の事業者のため、市が積極的に個々の事業者の周知を行うことには難しい面があるが、国から夜間対応型訪問介護の周知についての要請もあるので、バランスを考えて行っていく。

-----ここまで討議・質疑応答-----

木村会長

様々な意見がでたが、事務局が事業者へ確認を行い、各委員へ報告し、了承することを条件として株式会社日本夜間介護センター千葉が申請している日本夜間介護センター四街道事業所を夜間対応型訪問介護として指定してよろしいか。

委員全員

了承

《議事 その他》

事務局

平成23年度の事業候補者公募予定について説明。

木村会長

以上で議事を終了とする。

事務局

以上をもって、本日の地域密着型サービス運営委員会は閉会する。